

薬剤師がワクチン接種の担い手としての役割りを担うことについて

新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会（ヒアリング提出資料）

令和4年8月23日

日本薬剤師会

目次

- 1、薬剤師が接種の担い手として浮上した経緯・・・ 3
- 2、予防接種研修プログラムについて・・・・・・ 4, 5
- 3、大学教育課程での取り組み・・・・・・ 6, 7, 8, 9
- 4、意見・・・・・・ 10, 11

薬剤師が接種の担い手として浮上した経緯

○1日100万回接種の目標を掲げ、2021年4月中旬から高齢者接種が全国で開始。更にこの頃からワクチン接種のスピードアップを実現するための課題として、「ワクチン接種の打ち手」の医療従事者の確保に焦点が移った。



○政府内で薬剤師によるワクチン接種を検討する動きが加速し、河野国務大臣は5月18日の閣議後会見で、医師や看護師、歯科医師で打ち手を確保できない場合に薬剤師を接種の担い手に加えることを検討対象とする考えを示した。



○また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種専門性を踏まえた対応の在り方等に関する検討会（令和3年5月31日開催）においても薬剤師によるワクチンの接種については、「今後の接種の進捗状況を見つつ、必要に応じて検討」とされた。



○本会では、昨今の社会情勢に鑑み、薬剤師によるワクチン接種が必要になった際、即座に対応することができるよう、薬剤師のための予防接種研修プログラムを策定。

予防接種研修プログラムについて

「薬剤師のための予防接種研修プログラム」 開催要領

→都道府県薬剤師会が開催する研修プログラムの内容・方法について規定

研修内容

- I. 講義
 - (1) ワクチンに関する基礎知識（副反応に関する内容も含む。）※
 - (2) 緊急時対応の基礎
 - (3) ワクチンの接種に必要な解剖学の基礎知識※
 - (4) ワクチン接種の実際（接種時の注意点を含む）※
 - (5) ワクチンのアナフィラキシーとその対応等※
→各項目ごとにポストテストを実施

- II. 実技研修
 - (6) ワクチン接種の実技研修※
 - － ワクチン接種全体の流れ
 - － ワクチン接種における安全配慮
 - － 筋肉注射の実際
 - － シミュレータを用いた実技
 - － 修了証授与

（修了者名簿を提供できるよう日本薬剤師会・都道府県薬剤師会により管理）

※歯科医師、臨床検査技師、救急救命士に求められている研修と同様

予防接種研修プログラムの実施状況

「薬剤師のための予防接種研修プログラム」開催要領の提供について（日薬発第193号）都道府県薬から現在までの報告。

下記の1都1府6県の薬剤師会で開催され、講義修了者は564名、このうち実技まで修了した者は計411名であった。（令和4年8月22日時点）

研修会を実施した都道府県薬剤師会の修了者数

都道府県	講義修了者	実技修了者
秋田県薬剤師会	148	--
東京都薬剤師会	97	97
静岡県薬剤師会	20	20
三重県薬剤師会	38	38
大阪府薬剤師会	118	118
広島県薬剤師会	56	51
福岡県薬剤師会	39	39
熊本県薬剤師会	48	48
計	564	411

【参考】静岡新聞（2022/2/24 朝刊）



大学教育課程での取り組み

薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年改訂版：現行）

D 衛生薬学

D1 健康

(2) 疾病の予防 【②感染症とその予防】

4. 予防接種の意義と方法について説明できる。

E 医療薬学

E5 製剤化のサイエンス

(2) 製剤設計 【①代表的な製剤】

4. 注射により投与する製剤の種類とその特性について説明できる。

F 薬学臨床

(2) 処方せんに基づく調剤 【③処方せんに基づく医薬品の調製】

14. 注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。（技能）

16. 注射剤（高カロリー輸液等）の無菌的混合操作を実施できる。（技能）

(3) 薬物療法の実践 【③処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】

4. 前) 皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射・点滴等の基本的な手技を説明できる。

大学教育課程での取り組み

薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）素案

E 衛生薬学・公衆衛生薬学

E-4 健康を脅かす感染症の予防と蔓延の防止

E-4-1 感染症の予防

<学習目標>

- 4) ワクチンの種類と適用できる感染症、有効性・副反応、予防及び蔓延防止における効果に関して、これまでの知見や最新の科学的根拠に基づいて解析し、説明する。
- 7) ワクチン接種等、個々の感染症に対する予防法・予防策の運用を適切にコーディネートし、副反応が生じた際に適切に対応する。
- 8) 修得した知識・技能、有効な予防法・予防策を、人の健康に係る保健衛生上、公衆衛生上の他の課題の解決に向けて応用する。

大学教育課程での取り組み

- 六年制課程を有するほとんどの大学でフィジカルアセスメントの実習が導入されており、一部の大学ではワクチン接種手技に係る教育も行われている。
- 令和4年5月、日本私立薬科大学協会は加盟大学に対し、注射手技の実習を取り入れることへの協力を要請しており、今後導入する大学は増加すると考えられる。



2022年5月 シミュレータを用いた接種手技の実習の様子
(帝京平成大学薬学部 4年生必修科目)

ワクチン「担い手」育成を

崇城大薬学部生に接種実習

新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、熊本市西区の崇城大は、薬学部生を対象にワクチン接種の実習に取り組んでいる。接種は法律上、医師や看護師に限られ、特例として歯科医師らが認められている。薬剤師の卵に、将来的な「打ち手」としての期待を込める。

為。打ち手不足の解消のため、注射の教育を受けている歯科医師、臨床検査技師、救急救命士が特例で認められている。1回目接種が始まった当初、薬剤師も含む案があったが「普段注射を打たない」などの議論があり見送られた。

同大では昨秋、独自に薬学部の学生を対象に実習を開始。4年生134人が参加

加、医師が2時間指導した。学生たちは、人間の上半部分を再現したシミュレータを使い、実際に注射。筋肉にワクチンを注射する基礎知識や、副反応を想定した対処法も学んだ。

実習前のアンケートでは、「筋肉注射を自信をもって行うことができるか」の問いに76・4%が「できない」と答えたが、実習後は79・7%が「できる」と答えた。そうくである」と答えた。

指導した内田友二教授は「薬剤師はワクチンの温度管理など、打つ前の準備を担うが、接種の経験はない。間違えへの恐怖心や心理的なハードルが実習で拭かれた」とみる。

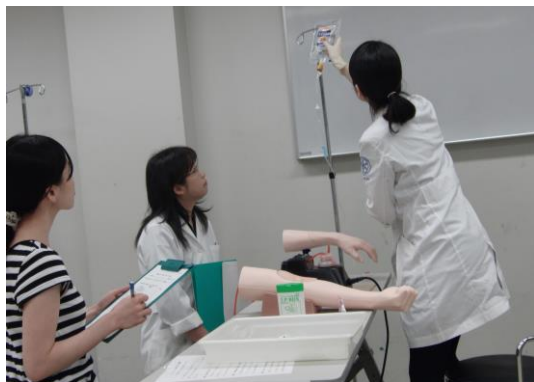
今後も学部教育の一環で、筋肉注射を実習する方針。内田教授は「コロナワクチン接種が3回目、4回目と続く中、薬剤師も打ち手を担えるのではないかと、すぐに打つ機会がなくても、流れを知ることによって他職種との連携もスムーズになる」と話す。(志葉菜葉 報)

シミュレーターを使ってワクチン接種の練習をする
崇城大の薬学部生 = 4月4日、熊本市西区

2022年5月2日 熊本日日新聞 P.19

大学教育課程での取り組み

- 予防接種以外に、注射・点滴の手技、採血手技の実習を導入している大学もある
- 以下は昭和大学薬学部における実習及び評価（アドバンストOSCE）の様子（参考文献 YAKUGAKU ZASSHI 133(2), 231-241, 2013）



有事の際に、薬剤師がワクチン接種の打ち手としての役割りを担うことについて（意見1/2）

- 今後の感染症対応にあたっては、より毒性・感染性の高い変異株の登場を想定し、備えておくことが重要であり、ワクチン接種においてもスピード感をもって実施する必要がある。
- 感染者・重症患者の増加により、新型コロナウイルスの第7波をはるかに超える入院等の医療崩壊の危機が起きれば、医師・看護師は治療に専念することが求められる。また、ワクチン接種の打ち手として対応する職種は病院従事のケースも多いため、医療崩壊時には人員が限られている。
- 有事のために病院が逼迫している状況の中、「本来ワクチン接種の打ち手となる職種による対応が厳しい場合等極めて限定的な場合」において、薬剤師が「地域」でワクチン接種の担い手として対応できる余地はあると考える。

有事の際に、薬剤師がワクチン接種の打ち手としての役割りを担うことについて（意見2/2）

- ただし、その際には、全ての薬剤師が打ち手の候補となるのではなく、必要な実務研修等を継続的に実施する等により、打ち手として必要な訓練を行っている薬剤師に限り対応することを想定しており、これまで本会および都道府県薬剤師会として必要な研修を整備・実施しているところ。
- 薬剤師としては、当然、薬剤の調製や監査等、本来業務として必要な対応を実施した上で、要請に応じて打ち手としての対応を行うものであると考えている。
- あくまでも「緊急時」「有事」であることや、医療崩壊リスクに対応するために、可能な範囲で幅広く対応できる医療従事者を確保しておく必要があると考える。